

# 平成25年度第2回静岡市清掃対策審議会

## 次 第

平成25年12月19日(木) 10:00～  
静岡庁舎本館3階 第2委員会室

### 1 開 会

### 2 報告事項

(1) ごみ減量具体化説明会の開催状況等について (資料1)

(2) し尿くみ取り料金の改定手法の検討状況について (資料2)

(3) 「静岡市事務事業市民評価会議」評価結果に対する市の  
方向性案について(対象事業:清水ごみ受付センター事業) (資料3)

### 3 閉 会

# 平成25年度第2回 静岡市清掃対策審議会席次表 (第2委員会室)

傍聴人受付 受付

録音

○

岩原副会長

浅場会長

馬居副会長

○

○

○

佐藤委員 ○

○ 平島委員

平井委員 ○

○ 西谷委員

狩野委員 ○

○ 亀澤委員

白井委員 ○

○ 瀧委員

○ 坪井委員

○ 遠藤委員

事務局  
(司会) ○

発言席

収集業務課長

廃棄物政策課長

環境局長

廃棄物対策部長

産業廃棄物対策課長

廃棄物処理課長

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

報道関係席

傍聴人席

### ③リユース ～まだ使えるものはごみにしないで、別の使い方を考える～

#### ○リサイクルショップ、フリーマーケット等を利用する！



⇒古本、CD・DVDや日用雑貨等について、民間のリサイクルショップに買い取って貰ったり、フリーマーケットで自ら出店したりする等して再使用に繋がる行動を心がけましょう。

#### ○リユースびんを選択する！



⇒びん入りの飲料を購入する場合は、なるべくリユースびんのものを選択するように心がけましょう。

### ④リサイクル ～ごみとして捨てるときは、正しく分別し、減量する～

①～③までの取組を実施しても、どうしてもごみとして出さざるを得ないものが残ってしまいます。ごみとして捨てるときは、できる限り資源ごみとして出せるように分別を徹底し、地域の集団回収やスーパー等の自主回収を積極的に活用しましょう。

#### ○生ごみ処理機器を活用する。



⇒静岡市の可燃ごみの中で一番多いのは、「<sup>ちゅうかいりい</sup>厨芥類（生ごみ）」です（約4割）。

生ごみは、生ごみ処理機器の活用により、堆肥化したり、排出量を大きく削減したりすることが可能です。本市では、生ごみ処理機器の購入に対して補助金を交付していますので、ご活用ください。

#### ○分別を徹底して集団回収や自主回収を活用する。

⇒可燃ごみの中には、紙類は約3割存在し、そのうち資源化できると思われる紙類が全体の約13%～16%含まれています。

メモ用紙、お菓子の空き箱、ワイシャツ等衣類の板紙、紙封筒、はがき等については、「<sup>ざつがみ</sup>雑紙」として紙製の袋にまとめて入れて保管しておき、集団回収等の古紙回収と一緒に出すように心がけてください。



静岡市環境局廃棄物対策部  
廃棄物政策課 総務担当  
◆電話：054-221-1075  
◆FAX：054-221-1076

# ごみ減量具体化説明会 資料

～具体的行動について～

静岡県もったいない運動実施中

## 4Rに取り組みることが大切です

～まずはリフューズ・リデュースから取り組みを～

Refuse	Reduce	Reuse
<b>① リフューズ(断る)</b> ●すぐにごみになる物はもらわない。 ●マイバックを持参し、レジ袋や過剰包装を断る。 	<b>② リデュース(減らす)</b> ●詰め替え出来る商品や、ばら売りしているものを利用する。 ●物を大切に、できるだけごみを出さない。 	<b>③ リユース(再利用する)</b> ●まだ使える物は、もう一度利用する。 ●リサイクルショップやフリーマーケットを利用する。 
		<b>Recycle</b> <b>④ リサイクル(再生利用する)</b> ●大切な資源を正しく分別する。 ●リサイクル商品を購入する。 

静岡県環境局

### ①リフューズ ～不要なものは貰わないよう心がける～

#### ○買い物の際には、マイバックを持っていき、レジ袋を断る!

⇒レジ袋の重量は1枚では大きなものではありませんが、日々の積み重ねの中で、無理のない範囲で少しずつでも減量を心がけることが重要です。

#### ○トレイ無し販売、量り売りの活用、過剰包装を断る!

⇒日々の暮らしの中で、出来るだけ容器包装の少ない商品を選択したり、量り売りを活用したりして、買い物をする時点から、ごみが少なくなる工夫をしましょう。

### ②リデュース ～なるべくごみにならないように心がける～

#### ○詰め替え用のある製品を選択する!

⇒商品を選ぶ際の指標として、詰め替え用のものがあるかどうかを意識してみましょう。シャンプーや洗剤等のボトルを繰り返し利用することで、ごみの排出抑制に繋がります。

#### ○マイ箸、マイボトルを活用する!

⇒マイ箸の活用によって、外食をする際に割り箸等の使い捨て製品を使わずに済みます。

また、飲み物についても、自宅でマイボトルに飲料を入れて持ち歩けば、紙コップ等の使い捨て容器の使用抑制に繋がります。

#### ○食材を使い切る・食べ残しをしない・生ごみの水切りを徹底する!

⇒生ごみの約80%は水分です。

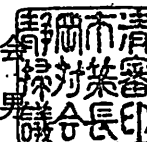
水分は、ごみを燃やすときの焼却炉の火力を弱めてしまい、効率的な焼却の妨げとなります。水切りネット等を活用して、ごみ袋に入れる前に水切りをしましょう。



平成23年12月13日

静岡市長 田 辺 信 宏 様

静岡市清掃対策審議会  
会長 沢 入 育 男



し尿くみ取り料金の取扱いについて (答申)

平成23年11月14日付け23静環廃政第2650号により諮問のあった、し尿くみ取り料金の取扱いについて、本審議会は慎重に審議した結果、附帯意見を添えて、下記のとおり料金表が適当であると認める旨、答申いたします。

記

1 くみ取り料金表 (平成24年4月1日適用)

区 分		料 金		
		市民負担	市負担	合 計
定額制料金 (1人につき)		585円	445円	1,030円
従量制料金 (18ℓにつき)		260円	180円	440円
特殊 料金	定額制 (1人につき)	650円	445円	1,095円
	従量制 (18ℓにつき)	290円	180円	470円

2 附帯意見

- (1) し尿くみ取り料金の改定手法について今後検討すること。
- (2) 市民と市の負担割合のあり方について今後検討すること。
- (3) くみ取り世帯に対しては公衆衛生及び生活環境の向上の観点から、公共下水道や合併処理浄化槽への転換を促進すること。